

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	伊藤 智典
担当業務	・公益法人として責任のある、自浄能力の機能する協会運営にむけたガバナンスとコンプライアンスの検討会にむけた準備を開始しました。 ・JANNET(障害分野 NGO 連絡会)では、監査役(監事)として運営にかかわりながらも、国際開発分野の障害関連の情報収集ならびに、障害当事者団体や人道支援系の NGO などとの関係醸成をしながらインクルーシブ社会の実現に貢献しています。 ・日本障害者リハビリテーション協会では、国際委員として会議に参画し、国際的な障害者を取り巻く動向の確認など、会員の活躍に資する取り組みをしています。 ・World Physiotherapy では、AWP region(世界理学療法連盟アジア西太平洋地区)の執行委員会の委員として AWP region の委員会会議、総会・学会に参加し、次の AWP 学会の検討、Webinar 企画・運営を通じ、理学療法士の活躍促進、専門性向上や職域を広げることで、グローバルヘルスの向上にむけた諸活動を行っています。

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
4月4日		第1回 理事懇談会、第1回 理事会	都内
4月5日		組織運営協議会	都内
5月10日		第2回 理事会	都内
5月18日	○	JANNET 中期計画策定委員会、外務省 NGO 研究会会議	オンライン
5月21日		第1回 ガバナンスとコンプライアンス検討・構築部会	オンライン
6月1日	○	AWP 地区執行委員会会議	オンライン
6月6、7日		第55回定時総会	都内
6月9日	○	外務省 NGO 研究会会議	オンライン
6月17日	○	World Physiotherapy 臨時総会	オンライン
6月22日	○	日本障害者リハビリテーション協会国際委員会	オンライン
6月23日	○	JANNET 役員会、定時総会	オンライン
6月24日	○	AWP コミュニケーションコール	オンライン
6月24日		田中政経セミナー	都内
所感	4月4日 第1回 理事懇談会と第1回 理事会が開催されました。 理事懇談会では、協会と都道府県士会との連携によるアドボカシー活動、理学療法士業務指針の改定、組織規則変更案など規程変更案について協議しました。都道府県と協会の役割分担、会員目線の実効性のある活動を推進する必要があります。 理事会においては、本会の定款に定められている事項のうち、以下の(1),(2)の決議を行いました。 【定款第 理事会の職務より】		

- (1)この法人の業務執行の決定 (2)理事の職務の執行の監督
(3)会長の選定及び解職 (4)副会長の選定及び解職
(5)専務理事の選定及び解職 (6)常務理事の選定及び解職

冒頭、選挙管理委員会委員長の梅本 昭英氏から、2025 年度実施代議員選挙結果について報告されました。選挙になった士会、投票率共に増えたこと、2026 年度は委員の半数が変更になることが報告されました。多様な立場から、真に会員の為になる本会の組織運営に貢献される方々が代議員になられることは頼もしく、また嬉しく思うところです。

続いて定款変更案、第 55 回定時総会の議題、会員歴 50 年の会員に対する感謝状贈呈、第 61 回日本理学療法学会研修大会に関する感謝状贈呈、法人葬及び偲ぶ会の実施に関する規程、「奈良勲先生を偲ぶ会」の開催、政策参与の委嘱、新入会員の承認について審議されました。続いて 2025 年度の第 4 四半期職務執行状況、会長行動録など、報告議題を確認しました。

執行すべき事業が多く、議題を審議するなか、ルール化や透明性の確保、運営の持続可能性が重視されています。

4 月 5 日 組織運営協議会が開催されました。

組織運営協議会は、都道府県を代表して各士会の会長の先生方にご参加いただき、本会の運営の大方針について議論する場です。今回は、組織強化、理学療法士の新しい働き方、連携や生涯学習制度の見直しなどが議論されました。変革する社会の中で、公益法人としての職能団体のあるべき姿の認識の共有、実効性のある運営にむけた組織基盤の強化が重要と考えます。

5 月 10 日 第 2 回 理事会が開催されました。

理事会においては、本会の定款に定められている事項のうち、以下の(1),(2)の決議を行いました。

【定款第 理事会の職務より】

- (1)この法人の業務執行の決定 (2)理事の職務の執行の監督
(3)会長の選定及び解職 (4)副会長の選定及び解職
(5)専務理事の選定及び解職 (6)常務理事の選定及び解職

主に総会に向けて、例年通り決議しなければならない議題を審議しました。また期末監査の報告について確認しました。昨年度の実績をふまえて、代議員の先生方に丁寧な審議いただく準備を整えております。

5 月 18 日 JANNET 中期計画策定委員会、外務省 NGO 研究会会議が開催されました。伊藤が外部役員として担当している JANNET、その中期計画策定委員会では、これまでを振り返り、現代的かつ実行可能性のある計画の策定へとかじ取りが求められています。特に情報、ネットワークの多様化、持続可能性、パートナーシップの在り方

が重要視されています。続いて、同 JANNET の関連で、外務省から受託された NGO 研究会の会議において、人道支援分野の障害者・高齢者を取り残さないガイドラインの日本人関係者への普及を目的とした調査、人材育成の計画立案が検討されました。障害を持つ人も持たない人も、公平で公正に生きていくことができる社会が求められる中、特に有事の対応がクリティカルであると考えられます。

5月21日 第1回 ガバナンスとコンプライアンス検討・構築作業部会が開催されました。伊藤は部会長、そして都道府県理学療法士会の会長、事務局長、本会理事らを構成員となっただき、公益法人としての遵守すべき事項、透明性のある運営などについて議論しました。次回は8月の開催で、年度内の取りまとめを目指します。

6月1日 AWP 地区執行委員会会議が開催されました。9月にインドで開催される AWP 地区学会、オセアニア地域の理学療法の展開はじめ、様々な議論を行いました。伊藤からは、真に公平な総会・学会の参加機会確保に向けた責任ある行動について提言をしました。日本からの参加者らの活躍を期待します。

6月6、7日 第55回 定時総会が開催されました。2日間にわたる総会にご参加された代議員の皆様、長丁場にもかかわらず、本当にお疲れ様でした。議論の多くは規定改正に関することでしたが、とりわけ情報の出し方、見せ方に関する議論が注目されました。現代的な情報発信とコンプライアンスの在り方、多様な視点が必要になると考えます。結果はともあれ、変革のない組織に未来はない、一方で守るべき軸は守ると思い、今後も建設的な議論の必要性を考えます。

6月9日 外務省 NGO 研究会が開催されました。人道支援における障害者、高齢者らに関する研修について、大枠のガイドラインの立案がはじまりました。伊藤は、視覚障害をもつ人道支援分野の専門家、障害者支援組織の専門家らと議論をして、次の会議までにまとめることとなりました。

6月17日 World Physiotherapy 臨時総会が開催されました。伊藤は AWP 地区執行委員会の委員として参加しました。同総会では、法人種別変更に伴う諸条件について議論をしました。議論は円滑に進んだものの、定足数を満たすための事務手続きには課題を感じる結果となりました。本来あるべき世界組織としての運営、意思決定、そしてその手続きに向けた諸課題の整理が必要であると考えます。

6月22日 日本障害者リハビリテーション協会国際委員会が開催されました。伊藤は委員として参画して情報収集、協力をしています。「Rehabilitation international」の会長変更に伴うその後の諸課題について情報提供されました。また、2028年に世界障害者リハビリテーション大会の様なものを日本で開催できない

	か、と新会長から再度の打診をうけたものの、お断りする方向で進む見込みです。 6月23日 JANNET 役員会、定時総会が開催されました。現職の清水会長のいったんの継続と、辞意の表明がありました。持続可能な組織運営にむけた運営体制の再構築が求められています。 6月24日 AWP コミュニケーションコールが開催されました。アジア西太平洋地区における職能連携、情報共有に関する大切な時間となりました。 同日、田中政経セミナーが開催されました。都道府県で実施できるアドボカシーについて学び、議論されました。 リハビリテーション、理学療法業界にむけた追い風は更に強く吹いてきています。今こそ、障害がない人にとっても、また障害のある方々にとっても真に貢献できる職種であるよう、理学療法を取り巻く環境・社会・制度の改善をふまえて、各団体と協力しながら引き続き取り組んでいくことが必要です。 ご不明点等がございましたら、どうぞご遠慮なくお問い合わせください。お時間がかかってしまうかもしれませんが、お返事させていただきます。 伊藤智典 E-mail address t-ito@japanpt.or.jp
報告日	2026年7月21日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。